

情 報 公 開 文 書

研究の名称	アミノレブリン酸塩酸塩投与下の全身麻酔管理における治療抵抗性低血圧の危険因子についての検討：単一施設後ろ向き研究
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学附属病院麻酔科 助教 吉田雅
研究の概要	<p>【研究対象者】2020年12月1日から2023年6月30日までに富山大学附属病院で全身麻酔下に経尿道的膀胱腫瘍切除術を施行された患者様を対象とします。</p> <p>【研究の目的・意義】アミノレブリン酸塩酸塩は、膀胱癌を可視化する目的で経尿道的膀胱腫瘍切除術の術前に投与されます。経尿道的膀胱腫瘍切除術は全身麻酔又は脊椎くも膜下麻酔下に行われますが、アミノレブリン酸塩酸塩投与後に麻酔を行うと周術期に低血圧になる危険性が指摘されています。当院では周術期低血圧に対し、循環作動薬を使用することで対処していますが、治療介入後も低血圧が遷延することがあります(本研究では治療抵抗性低血圧と定義しています)。</p> <p>治療抵抗性低血圧がどのような症例にみられるのかについて、後方視的に検討を行います。</p> <p>【研究の方法】術中に低血圧が遷延する症例と、遷延しなかった症例に分類します。それぞれの患者について、術前の基本的な患者背景、バイタルサイン、合併症、血液検査データ、および術中のバイタル変動、循環作動薬使用量、術後から退院までの経過や合併症の有無について調査を行い、群間比較を行います。</p> <p>【研究期間】承認日～2026年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 日本麻酔科学会、日本臨床麻酔学会などの学術集会にて発表し、成果を論文(日本語・英語)として公表します。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	<p>【診療目的で取得・保有する診療情報】患者背景(年齢・性別・体重・身長)、バイタルサイン(血圧・心拍数・動脈血酸素飽和度)、合併症の有無、血液検査データ、術中のバイタル変動、循環作動薬使用量、術後から退院までの経過や合併症の有無に関するカルテ記録を調査します。</p> <p>他機関への情報の提供はありません。</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	<p>機関：富山大学附属病院 責任者：病院長 林 篤志</p>
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	富山大学附属病院麻酔科 助教 吉田雅
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7377 FAX 076-434-5040 E-mail myoshida@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学附属病院麻酔科 助教 吉田雅</p>

